

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 日本語指導教員研修会
東京都立飛鳥高等学校・田柄高等学校・足立区

連携協定を締結している東京都立高校及び足立区において、日本語習得に課題のある外国籍児童・生徒を前にして指導に困難を感じている先生方のニーズに直接応える研修会が開催されました。3回の研修概要と参加者の感想から研修の有用性を強く感じます。

(1) 「外国人生徒のための語彙学習支援」

実施校：東京都立飛鳥高等学校 日時 2020年12月4日 参加者：28人

担当：外国語学部日本語学科 講師 田川真央

感想：今回講義いただいた内容は、日本語指導を行うために欠かせない「語彙を増やす」ことに関するものでした。言語を理解するメカニズムや理解する上で問題点、具体的な語彙の増やし方など、今後それぞれの教科指導を行っていく上で利用できるベーシックな内容が中心でした。昨年同様の内容の濃い充実した研修会となりました。（東京都立飛鳥高等学校 全日制副校長 池田 厚）



(2) 「日本語指導が必要な児童の課題とその背景」

実施：足立区日本語指導研修会 日時 2020年12月22日 参加者：10人

担当：外国語学部日本語学科 教授 木山三佳

感想：自分のクラスの児童が直面している課題が多くあり、どのように解決したらよいか毎日悩んでいました。その中で自分がやってあげられていたことや、できていないことが明確になりました。また、母語の重要性についても改めて感じました。私のクラスの児童は母語、英語、日本語を話しています。しかし、母語以外はあまりしゃべれません。しかし、家族とのコミュニケーションを考えると母語も大切にしたいと思いました。今後は今日学んだことを生かしながら児童の経験や気付きを生かして指導していきます。また、発音ができていないところもあるので、リズムディクテーションを取り入れて少しでも課題を解決してあげたいと思います。

（足立区教育委員会による事後アンケートより）

(3) 「中上級の指導」

実施校：東京都立田柄高等学校 日時 2020年12月23日 参加者：20人

担当：外国語学部日本語学科 教授 木山三佳

感想：本校担当教員からの希望により、「中上級の指導」というテーマで指導していただいたことを感謝申し上げます。私個人としてはゆっくり丁寧に教えることのみを考えていましたが、「様々な日本語能力レベルの中で中上級の生徒にも適した教え方がある」ことを教えていただきました。これぐらいは知っているだろうとか、背景的知識に関する配慮が足りないという生徒の躓きを招いてしまうということも本校での指導の参考になりました。（東京都立田柄高等学校 副校長 奥脇 次郎）

お知らせ

2021 明海大学「大学と地域連携の未来」シンポジウム

— コロナ禍における学校教育と地域連携の在り方 —

開催日：2021年2月6日（土）13:00～16:10

基調講演「コロナ禍で変わる学校教育のカたち」講師 佐藤明彦氏

— 熊本市「奇跡のオンライン授業」を振り返って —

Zoomによるオンライン開催 お申し込みは右のQRコードよりお願いします。

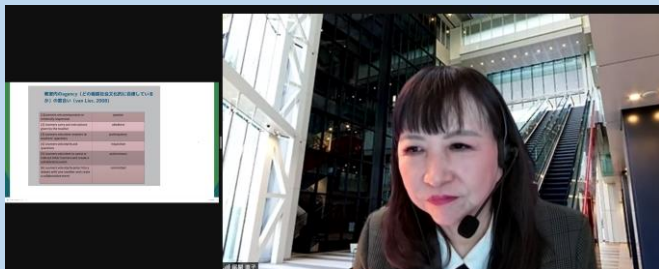


12月20日に第3回「明海大学・朝日大学共催・2020 英語授業改革セミナー」が開催されました。新型コロナウイルス感染防止の観点から初のオンライン実施となり、北は北海道から南は沖縄県まで23県、合計26都道府県から、小学校、中学校、高校の先生方のほか教育委員会の方々、大学教員、大学生、教育関係者が120人以上の参加がありました。

開講式での明海大学安井利一学長と朝日大学大友克之学長の挨拶に引き続き、明治大学国際日本学部教授尾関直子先生から「新学習指導要領と学習者の自立」についての講演がありました。豊富な資料を示しながらインタラクティブな講義は多くの示唆に富み、学習指導要領に示された概念の具現化に役立つ内容でした。

第2部では2つの時間帯(13:00~14:15、14:30~15:45)にそれぞれ3つのワークショップが行われました。ワークショップAには三重県立宇治山田商業高校英語科から見玉靖明先生と朝日大学経営学部准教授亀谷みゆき先生をお迎えして、「目標・指導・評価の一体化による授業改善 - 発信力の育成を目指して-」というテーマで講義とグループ討議を行いました。ワークショップBでは上智大学講師の北原延晃先生が「指導語彙が108%増加! どうする? 語彙指導 ~ 北原メソッドなら中学で認知語彙数3000語~」と題して講演を行い、本学METTS教授の石鍋浩先生がコーディネーターとなりグループ討議を行いました。ワークショップCでは本学外国語学部の前田隆子講師が「教科書を使った授業実践-小・中連携を意識して-」と題して講義を行い、本学METTS百瀬美帆教授がコーディネーターとなりグループ討議を行いました。それぞれのワークショップの配信会場には技術担当者として外国語学部英米語学科の4年生中村亮介さん、内藤卓さんと2年生の及川龍之介さんが立ち会いました。及川さんは感想を次のように述べています。「今回参加

第3回 明海大学・朝日大学共催
文部科学省(申請中)・千葉県教育委員会・足立区教育委員会・浦安市教育委員会・全国英語教育研究団体連合会・きょうりく創造育成財団 後援
2020英語授業改革 オンラインセミナー 「本気で授業改革！」
※新型コロナウイルス感染防止の観点からオンライン開催に変更!
日時 2020年12月20日 9:30 開場 9:40 開講式
10:00~11:30 基調講演
第1部 演題 『新学習指導要領と学習者の自律』
講師 尾関直子
明海大学国際日本学部教授 明治大学理事 大学英語教育学会副会長
第2部 第1セッション 13:00~14:15 (2) 14:30~15:45
指導法ワークショップ
第2セッション A 高校 B 中学校 C 小学校
第3セッション 演題 A・B・CそれぞれのURLを後日配布。詳細は次ページ。
講師 A 高橋 三原県立宇治山田商業高校教授 尾関直子
B 尾関直子 朝日大学経営学部准教授 尾関直子
C 尾関直子 朝日大学経営学部准教授 尾関直子
お問い合わせ先 明海大学教職課程センター・地域学校教育センター(METTS)
お問合せはこちらへ:047-350-4866 (直通)
お申し込み: TOLRまたは右のQRコードから
https://forms.gle/GpK8TEyqfV22



基調講演中の尾関直子先生

させていただいた授業改革セミナーでは、機械や電波の不具合への対応、そしてブレイクアウトルームの操作などが私の担当でした。さまざまな部分での難しさを改めて実感しました。今年はコロナの影響でZoomなどのツールを活用する機会が増えました。将来ICTを使用した授業をしたいので、こうした操作に慣れていかなければならないと感じました」

明海大学での4年間を振り返って



新潟の高校を卒業し、期待と不安を胸に入学してから早4年が経とうとしています。教職課程で出会い同志を持った人達と膨大な課題に切磋琢磨しながら取り組み、教員採用試験には先生方にも協力していただいて挑みました。METTSはとても居心地がよく、先生方とのコミュニケーションがとりやすくいつも賑やかで毎日大学に行くのが楽しかったです。この大学で学び得たことは数えきれません。友人も、先生方も、本当にありがとうございました。(英米語学科4年鶴巻紗希さん)

「勉強にはチームワークが必要である」高校時代に先生から言われた時は理解ができませんでした。大学の4年間を通してこの言葉の意味を理解することができました。普段の課題やテスト勉強、そして教員採用試験対策の勉強の時に本当に支えになってくれたのは共通の目標をめざす仲間でした。この4年間の出会いと経験を宝に人生を楽しんでいければいいと思います。



皆さん、また会いましょう!
(英米語学科4年 中村陸さん)

アゴラ活用状況(人)	
12月	1,020
2018年度からのべ数	32,228